

活動10周年!

## 都留市主任児童委員によるふれあい・子育てサロン

主任児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らしていけるように、子どもたちを見守るとともに、学校や各関係機関との連携を密にして、子育てに関する相談、子育てに必要な情報の提供、専門機関への紹介など、子どもや子育てをしている家庭への支援活動を行っています。

都留市では、現在8名の主任児童委員がおり、子育て支援活動の一環として、ふれあい・子育てサロンを実施しています。この取り組みは、今年で10周年を迎え、11月には記念事業を開催する予定です。この事業の詳細につきましては、追って広報でもお知らせします。

### 親子一緒にのサロン

お子さんと保護者の方が一緒に参加します。リズム遊びをしたり、絵本の読み聞かせや工作をします。

7月の開催日：7月8日(月)

時間：受付9時45分～10時  
開始10時～12時

場所：いきいきプラザ都留2階  
持ち物：各自必要なもの

費用：200円(保険・運営費)

※参加申し込みは不要



■市内の幼稚園や保育園からも先生方にご協力をいただいています。

### 託児サロン

10時～14時までの託児ができるサロンです。一人のお子さんにつき、ボランティアさん一人が担当でお世話をする手厚い内容となっています。午前中だけでも利用できますが、一日預ける場合には、お弁当をご持参していただきます。

担当のボランティアさんたちは、子育てを終えた先輩お母さんなど、子育て経験豊富な方々なので、安心です。また、その日の様子をカードに記入していただけるのですが、普段気付かないような子どもの様子や、一面がわかる事もあると好評です。

7月の開催日：7月22日(月)

※事前申し込みが必要

開催日の2週間前から受付

時間：受付9時45分～10時  
開始10時～14時

場所：いきいきプラザ都留2階

時間：10時～14時

費用：300円(保険・運営費)

持ち物：お気に入りのおもちゃ、靴、着替え、飲み物、おやつ  
(1日預ける方のみお弁当)



■最初は泣いてしまう子もいますが、すぐに慣れて、笑顔が見られます。



■託児サロンの様子

特に、お子さんを預ける託児サロンは、お母さんが子育てからひと時解放され、リフレッシュすることができますし、子どもたちにとっても家庭の中にいるだけでなく、他の子どもや大人とふれあうことで、協調性や自立心を促すきっかけとなるのではないかと感じました。

子育てに息が詰まったり、不安を感じた時には、こういったイベントに参加し、同じ悩みを持ったお母さんとお友だち作りを試みてはいかがでしょうか。

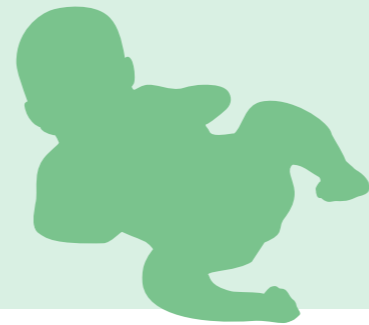
問合せ先 都留市社会福祉協議会 ☎(46)5115



■都留市主任児童委員による親子一緒にのサロンの様子

あなたの子育てを応援しています！  
市内における様々な子育てに関する取り組みを子育て特集として、ご紹介いたします。

# 都留市子育て特集



パパ、ママよろしくね



## ママせんクラス・パパせんクラス

市では出産前に育児に関する知識を勉強する教室を開校しています。助産師、栄養士、親業インストラクター、保健師などが講師になります。

### ママせんクラス

妊娠、出産、育児についていろいろ知りたい、他の妊婦さんとお話してみたいなど、ママせんクラスはそんな皆さんのための教室です。全6回を1期として、年間4期開催しています。

### パパせんクラス

パパに出来る子育てについての教室です。おふろの入れ方やオムツの当て方の実習もあります。年間4回開催します。

※市ホームページに日程などの詳細がありますのでご覧ください。

問合せ先 健康推進課 保健・予防担当(いきいきプラザ都留内)

☎(46)5113





## 放課後子ども教室

地域・家庭・学校が一体となり子どもたちを育てていきましょう！  
 小学校区ごとに放課後や週末の子どものための安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々のご協力を得て、様々な体験活動を行うものです。現在実施しているのは、東桂小学校(桂子ども教室)・宝小学校(宝っ子クラブ七里)・谷村第二小学校(三吉子ども体験教室)・旭小学校(旭子ども教室)の4小学校区です。  
 協働のまちづくり推進会、地域の方々、都留文科大学生の協力を得て活動しています。放課後や週末、夏休みや冬休みを利用して、小学校の体育館やグラウンド、地域コミュニティセンター、公民館、野外などで活動します。  
 「放課後子ども教室」は全児童(1年生から6年生)が対象です。

問合せ 学びのまちづくり課生涯学習担当



■放課後子ども教室でのだんご作り

## よみきかせボランティア・子育てサークルなど

子育てサークルやボランティアサークルの皆さんが、絵本の読み聞かせや手遊び、ベビーヨガなどのイベントを図書館やいきいきプラザで開催しています。家族みんなで参加できます。  
**読み聞かせ場所** 市立図書館3階おはなしコーナー ※下記の開催日はおはなしコーナーでの読み聞かせの日程です。

ひびきの会の  
読み聞かせ  
7月の開催日:  
13日(土)14時~



■ボランティアサークルによる読み聞かせです。みんなが選んだ絵本や紙芝居を読みます。

こぶたの会の  
“ワクワクおはなし会”  
7月の開催日:  
27日(土)14時~



■読み聞かせボランティアによる活動です。小学校や保育園でも活動しています。  
<http://ameblo.jp/kobutanokai/>

こぐまクラブの  
「こぐまのちいさなおはなし会」  
7月の開催日:  
19日(金)10時30分~



■子育てサークルによる活動です。  
 いきいきプラザ都留やびゅあ富士などで活動しています。  
 手遊びやリズム遊び、読み聞かせなど、親子で楽しむ遊びやクッキングもしています。  
<http://ameblo.jp/kokogumama/>



子育て情報コーナー  
ベビーヨガ&マッサージ

※「とがちび」のコーナーでは、市の事業だけでなく、下記のように独自に活動しているグループも紹介しています。スペースがあれば掲載しますので、活動団体の方は情報をお寄せください。

ベビーヨガ、マッサージやおうた遊びなどを行います。  
 日時: 7月19日(金)10時30分~  
 場所: いきいきプラザ都留2階  
 対象: 3カ月~1歳(要申し込み)  
 参加費: 500円  
 持ち物: バスタオル、飲み物  
 申込・問合せ: ☎090(7710)2389(友野)

## 都留市ファミリー・サポート・センター

先月号の協働通信でも掲載しましたが、ファミリー・サポートとは、子どもを預かってほしい「依頼会員」の依頼に応じ、自宅で預かることができる「提供会員」が子どもを預かり、地域の中で子育てを支え合い、助け合う有償サービスです。現在、会員を募集中ですので、下記問合せ先までお気軽にお問い合わせください。

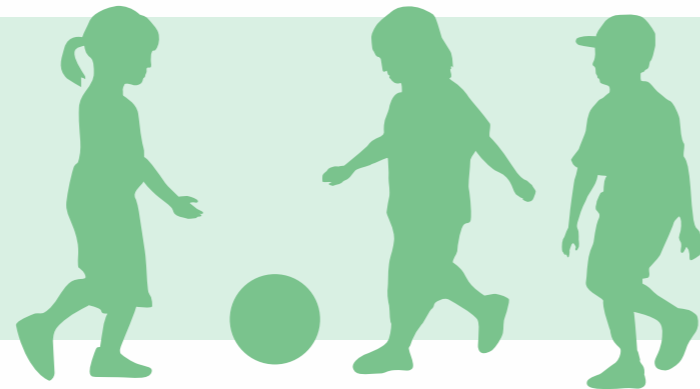
- 依頼会員**…「残業続きで、保育園のお迎えが心配…」  
 「自分の習い事に子供を連れていけない」  
 ⇒会員登録すると、援助をしていただける方を探してくれます。
- 提供会員**…「子供も成長して、空いている時間を何か有効に使いたい。」  
 「子育て経験を生かしたい」「子育てしている人の援助をしたい」  
 ⇒会員登録すると、援助を受けたい人を探してくれます。

問合せ 都留市ファミリー・サポート・センター(市まちづくり交流センター1階)  
 ☎(43)1330



■会員募集中です!

## 地域で子どもを育てる



### 放課後児童クラブ(学童保育)

保護者が就労などにより、昼間家庭にいない小学生を対象に、適切な遊びや生活の場を与え、集団生活の中で豊かな心身を養い、児童を健やかに育成することを目的としています。地域の保護者会が運営し、主に1年生から3年生の留守家庭児童を対象に行われ、市内全小学校区で活動をしています。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| ○谷一小区…さわやか第一教室、さわやか第二教室 | ○宝小区…宝じゃりんこの会           |
| ○東桂小区…桂っ子クラブ、元気っ子クラブ    | ○附属小区…とまとクラブ            |
| ○谷二小区…みよっこクラブ           | ○禾一小区…なかよし第一教室、なかよし第二教室 |
| ○禾二小区…わんぱく教室            | ○旭小区…旭にこにこクラブ           |

問合せ 福祉課 子育て支援担当

## 広がる子育ての輪



### 地域子育て支援センター

先月号の「とがちび」のコーナーにも掲載しましたが、地域子育て支援センターとは、幼稚園・保育園に入園前のお子さんと一緒に遊びに行ける施設です。また、子育てに関する相談も受け付けています。  
 詳細については下記保育園にお問い合わせください。

- ひまわり幼稚園**  
 地域子育て支援センター「こどもの部屋」  
 問合せ ☎(43)4194
- 東桂保育園**  
 地域子育て支援センター「ふれあいくらぶ」  
 問合せ ☎(45)3066

- 長生保育園**  
 地域子育て支援センター「たけのこひろば」  
 問合せ ☎(43)9919
- 開地保育園**  
 子育て支援センター※5月から谷村地区にサテライト  
 子育て支援センターもオープンしています!  
 問合せ ☎(43)3647(保育園)  
 ☎080(3122)3647(市庁舎子育て支援センター)



## のびのび興譲館

本紙でも何度か取り上げていますが、小学4年生～中学生を対象とした体験学習塾を毎年開校しています。

5月に開校し、フィッシング塾や自然塾、クッキング塾などのコースに分かれての塾の中で色々な体験をし、学ぶことができます。

違う学校や違う学年の子どもと接する事で協調性や責任感を身に付けるきっかけになるのではないのでしょうか。



■過去の自然塾での様子(泥田んぼ)

## 都留文科大学学生による教室・イベント

### うら山観察会

うら山観察会では、地域の子もたちと一緒に大学のうら山に登ったり、近くの川で動物や昆虫の観察活動をしています。ムササビやホタル、リスの観察会など、都留の自然と子どもたちの橋渡しをしています。ナイトハイクなどもあり、子どもたちにとっても人気のあるイベントです。

### つる子どもまつり

学生たちが主催で毎年5月ごろに開催されるお祭りです。教員を目指す学生が多く学ぶ、都留市ならではの楽しいイベントです。参加する子どもたちは主に小学生が多く、友達同士で遊びに来ています。お兄さん、お姉さんと一緒に学んだり、遊んだり、楽しい一日を過ごすことができるイベントです。

※7月27日(土)～8月18日(日)に「つるこどもまつり—はじまり・いま・みらい—」展がミュージアム都留にて開催されます。詳細につきましては、18ページをご覧ください。

都留文科大学の学生は、上記の他にも、のびのび興譲館の英語塾や、小学校の学生アシスタントティーチャーなど、さまざまな教育事業の場面で活躍しています。



■今年のつるこどもまつり

## セカンドブック事業

本年度、市立図書館では市内の小学校一年生を対象に、図書館の利用者カードや、図書目録、メッセージなどの入った図書館通い袋を配布しました。

ブックスタートという事業が全国で取り組まれています。これは乳幼児のいる世帯に絵本をプレゼントし、絵本を介してお母さんや家族が赤ちゃんに語りかけ、暖かな時間を持つことを応援する事業です。

都留市のセカンドブック事業は、ブックスタートの次段階として、読み聞かせだけでなく自分で本を読めるようになった子どもが、図書館に行って読みたい本を選ぶよう動機づけとして企画したもので、特定の本の配布は行いませんが、事業実施後は児童の来館者が増えているとのこと。



■配布された通い袋

子育て期の保護者の方々は、子どもたちとの楽しい時間もたくさんありますが、一方ではいろいろな悩みや、大変だと思ってしまうこともあるのではないのでしょうか。そうした時、周囲がサポートできればいいのですが、その力が借りられない時など、ストレスがたまってしまうこともあるでしょう。そんな時には、今回取り上げたようなイベントや教室を活用してみたいかがでしょうか。

古くからいわれる、『遠くの親戚より近くの他人』ということわざにもあるように、市内でサポートを受けたり、相談できる場所をみつけることにより、親子にとってより良い結果につながることもあると思います。子育てをすることは、他者とかかわる機会が増えることでもあります。悩んで家にももつことは、保護者の方にとっても、子どもにとっても良いこととは言えません。お気軽に気分転換として、こういったイベントや教室にぜひお出かけしてみてください。

また、今回取り上げきれなかった事業や制度、イベントなどもまだまだたくさんありますので、市のホームページや広報を参照していただいたり、各担当にお気軽にご相談ください。

このほか、自主的なボランティアサークルや子育てサークルについても、市内では多くの団体が活動しています。また、県立の施設でも子どもを対象とした講座が開催されたりしています。これらの情報については、本紙の「子育て情報コーナー」か「お知らせ＆募集」のコーナーでなるべく取り上げていきたいと思っておりますので、ぜひご参考にしてください。



# 富士山文化遺産登録へ

富士山が世界文化遺産登録となりました。自然遺産登録の挫折から10年、国を挙げての悲願がいよいよ実現いたしました。

富士山は日本の宝であり、それぞれのまちに住んでいる人が自分のまちから見える富士山に誇りと愛着を持っていると思います。そのような思いをより多くの人と共有し、日本国民として分かち合おうと、ここ富士山を取り巻く周辺自治体の共同企画といたしまして、各市町村の広報紙7月号の表紙を富士山で飾ることといたしました。

登録が「ゴール」ではありません。富士山の文化や自然、美しい景観を末永く守り、後世に引き継いでいくための「スタート」地点に立ったに過ぎません。日本の象徴、世界の宝である富士山を、関係機関の協働により全力を挙げて自然保護・環境保全に取り組んで行かなければなりません。将来を担う子どもたちのために――。

## 共同企画賛同自治体

山梨県…甲府市・富士吉田市・都留市・山梨市・大月市・韮崎市・南アルプス市・北杜市・笛吹市・上野原市・中央市・市川三郷町・早川町・身延町・昭和町・道志村・西桂町・忍野村・山中湖村・鳴沢村・富士河口湖町

静岡県…三島市・富士宮市・富士市

神奈川県…南足柄市・湯河原町・松田町・中井町・大井町・箱根町・真鶴町

計31市町村

## 表紙の写真はリニア新型車両と富士山

表紙の写真は、6月3日に撮影したもので、この日はちょうどJR東海のリニア新型車両のお披露目の日でした。

今回、7月号の表紙を共同企画で富士山にする案があったため、このチャンスを逃すまいと、リニア車両の取材後、急きょ九鬼山登山道の展望台へ登り、撮影を行いました。

この結果、都留市らしい富士山の写真を撮影することができました。

(左)リニア新型車両と、各社報道陣

